

Green 通信 vol.9

学内視察後の変更点と現状について

令和元年度 第2号
環境推進ワーキンググループ

令和元年度第1号グリーン通信で6月に実施した学内視察を行い、今後の活動として学生ホールに残汁処理用ごみ箱設置の試行と講義棟2階にごみ箱設置の検討をお伝えしました。これらの現状の様子についてご報告します。

【学生ホール残汁処理用ごみ箱について】

学生ホールへ残汁処理用ごみ箱の設置を試行しました。残汁処理用ごみ箱内の破棄を実施してもらっている生協の方や学内清掃の方にお話をお伺いしました。



清掃員の方の声

「ごみ箱を設置する前よりトイレ
への残汁破棄が減った。」

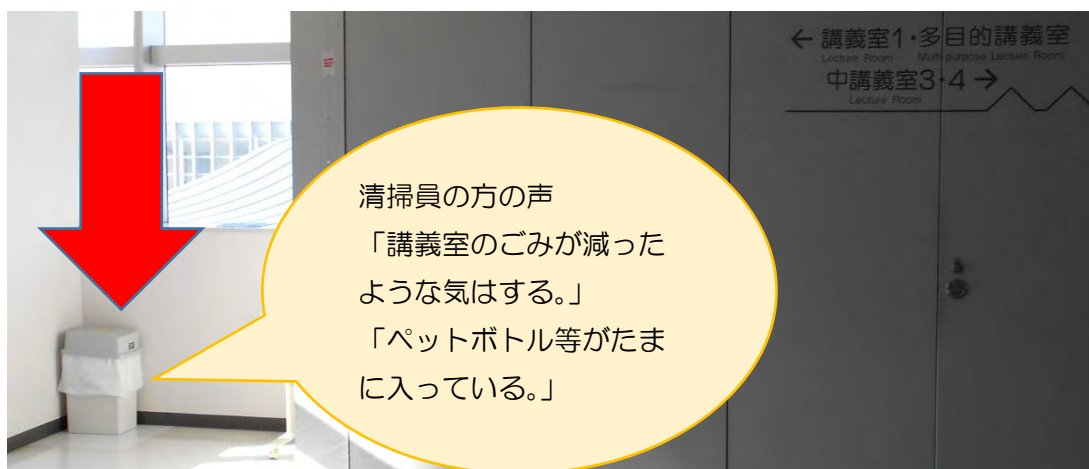
生協の方の声

「汚すことなく綺麗に
使用してもらっている。」

残汁はトイレに破棄せず、学生ホールの残汁処理用ごみ箱を活用して頂くよう、ご協力をお願いします。

【講義棟2階のごみ箱（可燃ごみ）について】

学生との意見交換会において、「講義棟2階にごみを捨てる場所がないため、ごみ箱がほしい。」という要望があり環境推進ワーキングで検討しました。検討の結果、講義棟2階にもごみ箱を設置しました。



清掃員の方の声

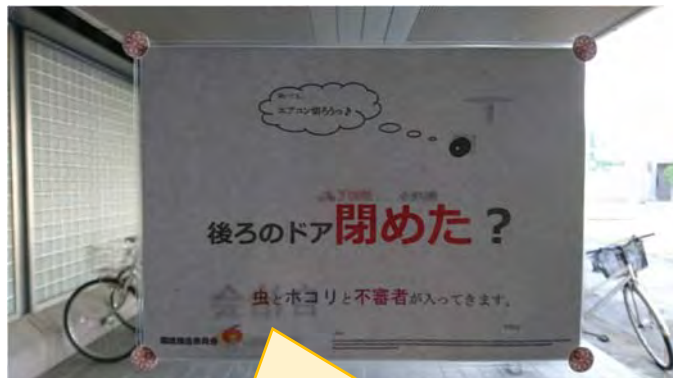
「講義室のごみが減った
ような気はする。」
「ペットボトル等がたま
に入っている。」

設置後、講義室内のごみの放置は減ったとのことでしたが、可燃ごみ以外にも捨てられておりました。今後は掲示物にてペットボトルを捨てることができないことを周知していきます。引き続き、ごみの分別についてご協力をお願いします。

【廊下の扉とトイレの掲示物について】

学内視察において、扉の開けっ放しによる空調機器の汚れ防止とトイレの便座の蓋をする注意喚起を自治会と共に実施しました。扉の開けっ放しは空調温度への影響も大きく、メンテナンスの方へ掲示物実施後のお話をお伺いしました。

○ 廊下の扉



○ トイレ



メンテナンスの方の声
「廊下の扉は閉めてくれることが増えた。」

ワーキングメンバーの声
「便座の蓋が閉まっている頻度が増えた。」

全てのトイレに掲示物を貼付し、便座の蓋が閉まっている頻度が増えてきました。今後も扉の開け閉めや便座の蓋を閉じることへのご協力をお願いします。

【令和2年度に向けてのご報告】

これまで、環境推進ワーキングで環境推進活動を行っていた場所は、教職員が主に使用する場所が中心となっていました。そのため、学生が日常的に使用する場所も含めていく必要があり、環境推進ワーキングで検討を行いました。その結果、以下の場所についても環境推進活動の現状把握を行っていきます。

学生ホール、講義棟、実習棟、体育館、大学院棟

環境豆知識

— 再利用と再生利用の違いって何? —
再利用は紙の裏面を利用する等、再使用すること（リユース）です。一方、再生利用は両面使用した紙等を資源・原料として利用すること（リサイクル）という違いがあります。

今回の現状把握を踏まえ、今後も環境保全活動を推進してまいりますので、ご協力お願いいたします。